

書店(帖合)印

注文・返品条件付

ご担当者様名

様

ご注文数

冊

発行
発売

有限会社 ういんぐ
株式会社 星雲社

「核エネルギー」はなぜいかにして「危険」か
原発事故の責任を問う前に再稼働
は認められない
林 紘義【著】

ISBN978-4-434-16052-3 C0030

定価 1800円
(本体1714円+税)

注文
受付
FAX
03-3947-1617
(星雲社)

「核問題」の本質に迫る決定的な発言！

福島原発事故の後、原発推進派と反原発主義者の対立は先鋭化し、まるで水と油のように対立しています。しかし我々のなすべきことは、「核」の危険性とは何か、その危険性の根源は実際にどこにあるのかを冷静に検討、評価し、我々にとって何が本当に重要であり、なすべきことなのかを確認することではないでしょうか。本書はこの問題に対する、真実の答を追求した結果に生まれたもので、万人の必読の書といえます。

本書の目次

- 序 我々はいかに「核エネルギー」問題を論じてきたか、そして今論じているか
- 第一章・原爆、そして原発と労働者階級の立場
資本主義、帝国主義と原子力エネルギーの「危険性」
- 第二章・「安全神話」に抗して
資本による「核、利用の「危険性」
- 第三章・原発は果たして「無理」な存在か
「核エネルギー」は人類にとってすでに一つの現実
- 第四章・反「核」主義者たちの奇妙な理屈
空虚な論理で人は説得できない
- 第五章・菅直人の「反原発、政治のトンチンカン
思いつきと保身と無責任と
- 第六章・原発事故の責任を明らかにせよ
「復興、や「補償、はまず東電や大企業や金持ちの負担で

10月5日
発売

「核エネルギー」はなぜ
いかにして「危険」か
原発事故の責任を問う前に
再稼働は認められない

今よみがえる三十年前の透徹した洞察！
福島原発事故の中で、搾取の廃絶と労働の解放のために半世紀を生きて来た老活動家、思想家の余りに重い「真実の言葉」！
すべての労働者、働く人の必読の書！

B6判・並製本、284頁
定価1800円(本体1714円+税)
ISBN978-4-434-16052-3 C0030

『「核エネルギー」はなぜ
いかにして「危険」か
原発事故の責任を問う前に
再稼働は認められない』
林 紘義【著】

著者 林 紘義 (はやしひろよし) 略歴

筆者は1938年、長野県上田市生まれの伊那谷育ち。学生時代、共産党、それからブント(共産主義者同盟)などに参加、勤評、安保闘争などを闘い、それ以降も、社会党や共産党などの既成政党はもちろん、新左翼諸派にも反対して、一貫して独自の政治的闘いを推し進めてきた左翼活動家、論客。過去数回、ミニ政党(社労党)から国政選挙に立候補するも力足らずして落選、現在はマルクス主義同志会の会員。

【発行】 有限会社 ういんぐ

〒179-0074 東京都練馬区春日町1-11-12-409
TEL・FAX03-6795-2822
E-mail = uing-shaken@jcom.home.ne.jp

【発売】 株式会社 星雲社

〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10
TEL 03-3947-1021 FAX03-3947-1617